

令和2年度

## 事業報告書

特別養護老人ホーム虹ヶ丘  
ヶ ア ハ ウ ス 虹 ヶ 丘  
虹ヶ丘短期入所生活介護事業所  
虹ヶ丘デイサービスセンター  
虹ヶ丘在宅介護支援センター  
虹ヶ丘ホームヘルパーステーション  
虹ヶ丘障害者短期入所事業所  
虹ヶ丘障害者居宅介護事業所  
ふれあいホーム 神宮寺

## 令和2年度 高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 事業報告書

### (1) 総括

人や社会とのつながりを大切にする福祉実践の根本が大きく揺らいだ今年度は、命を守ることを優先せざるを得なかったため、利用者や家族の暮らしを豊かにするという重点課題への取り組みは十分に行えなかった。そうした中でも感染対策に留意した新しい生活様式に対応するため、各部署が懸命に知恵を巡らし、やみくもに感染リスクゼロを絶対条件にするのではなく、周辺の感染状況を勘案した上で独自の対策を臨機応変に講じながら、利用者や家族を取り巻く福祉課題に対してバランス感覚をもって向き合えるように努めた。

具体的な事業としては、面会や職員研修時のオンラインシステムの体系化、移乗用リフトや介護記録へのテクノロジーの導入、水道カランの自動化、3S活動(整理・整頓・掃除)を補助する各棚の設置等は感染症対策にもなると共に利用者へのサービスの質の向上にも寄与する取り組みとして業務改善にもつながったと思われる。

財政の健全化の取り組みとしては、コロナ禍にあっては訪問通所系サービスは稼働を維持することに苦戦を強いられたが、入所系サービスは前年度に比べて微増という結果に終わった。施設内の照明のLED化を進めたことによる電気代やスタッフの超過勤務等は大きく削減されたが、建物や備品に係る修繕件数が増加しており、施設開設から22年が経過した影響が重くのしかかっている。

職員や組織の体制については、職種ごとの分掌やシフトの見直しを図りながら、業務効率の向上とワークライフバランスの実現が図れるような体制作りを進めてきた。また、本部体制統合化を見据えて様々な事務処理の合理化も進めた。

中心的な役割を担ってきた職員層が間もなく定年を迎えようとしている中で、安定した事業運営を担うスタッフの育成が急務となっている。次年度もサービス向上と共にスタッフの育成に手を緩めることなく、地域から求められる事業所作りを進めていきたい。

### (2) 面会状況

月	人数
4	32
5	51
6	112
7	71
8	44
9	29
10	10
11	24
12	10
1	0
2	8
3	31
合計	422

### (3) 健康管理状況

内容	利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査	0	0	7	110
	0	0	12	37
尿検査	0	0	7	108
	0	0	12	37
心電図検査	0	0	7	110
	0	0	12	37
胸部レントゲン検査	0	0	7	108
	0	0	12	0
インフルエンザ予防接種	11	50	11	105
	0	0	0	0

### (4) 年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,459	1,459	1,458	kcal
たんぱく質	55.8	55.8	57.2	g
脂質	35.1	35.1	41.5	g
カルシウム	439	439	615	mg

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

## (5) 全体行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
5/20	施設内草刈り	4	9/10	避難通報訓練	10
5/21	施設内草刈り	4	9/27	虹ヶ丘敬老会	70
6/18	第三者評価受審	5	11/2	特養チューリップ球根植え	12
7/7	避難通報訓練	11	11/16	夜間想定避難訓練	13
7/29	健康診断(職員)	110	12/14	健康診断(職員)	37
8/3	敷地内剪定作業	4	12/16	神宮寺手打ちそば	22
8/4	敷地内剪定作業	5	3/11	避難通報訓練	9
8/5	敷地内剪定作業	6			

## (6) ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内 容	月	グループ名	参加者数	内 容
4				10	梅林寺婦人部	10	草取り
5				11	コスモス会	12	窓ふき
6				12			
7	つつじ会	8	窓ふき	1			
8				2			
9				3			

## (7) 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	実人数
4月	介護支援専門員実務研修	1
8月	京都暁星高校介護職員初任者研修	4
9月	福祉即戦力人材養成科実習	3
10月	京都府立看護学校老年看護学実習	10
11月	京都府立看護学校老年看護学実習	3
12月	京都府立看護学校老年看護学実習	3

## (8) 内部研修

月	内 容	講 師	人数
5月	コンプライアンス研修(役職者)	施設長	21
	コンプライアンス研修(各部署)	各部署会議	62
	眠りSCAN勉強会	パラマウントベッド高瀬氏	8
	虹ヶ丘新入職員研修①	施設長・各課長	7
6月	リハビリ勉強(ケース検討)	神内PT	3
	虹ヶ丘新入職員研修②	多賀野係長・小藪係長	7
	認知症インターネット研修	Web(お茶の水ケアサービス学院)	5
7月	虹ヶ丘新入職員研修③	栗倉主任・宇野主任	7
	リハビリ勉強会(基本介護技術Ⅰ)	神内PT	8

	リハビリ勉強会(デイサービスケース検討)	神内PT	2
	令和2年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	78
8月	令和2年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	69
	虹ヶ丘新入職員研修④	平野主任・山根主任	5
	令和2年度法人新人研修	法人内担当者	6
	リハビリ勉強会(基本介護技術Ⅱ)	神内PT	6
9月	リハビリ勉強会(基本介護技術Ⅲ)	神内PT	7
	虹ヶ丘新入職員研修⑤	深田副施設長・福田介護士	6
	リハビリ勉強会(ケース検討)	神内PT	3
	特養新人研修①	特養役職者	4
10月	特養新人研修②	特養役職者	4
	リハビリ勉強会(ケース検討)	神内PT	2
11月	リハビリ勉強会(ケース検討)	神内PT	4
	特養新人研修③	特養役職者	4
	CARE KARTE WEBセミナー④	Web(ケアコネクトジャパン)	4
	CARE KARTE WEBセミナー⑤	Web(ケアコネクトジャパン)	3
12月	ケアマネジャーにとってのアドバンス・ケアプランニング	Web(京都府介護支援専門員会)	7
1月	介護報酬改定の要点①	Web(菊地雅洋氏)	17
	リハビリ勉強会(ケース検討)	神内PT	3
	令和2年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	9
2月	自主点検表をひもとく 運営基準の初心者向け講座	Web(京都府介護支援専門員会)	6
	介護報酬改定の要点②	Web(菊地雅洋氏)	11
	介護報酬改定の要点③	Web(菊地雅洋氏)	11
	令和2年度看取り勉強会	渡邊看護師	34
	リハビリ勉強会(リフト勉強会)	神内PT	8
	令和2年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスクマネジメント委員会	46
	リハビリ勉強会(デイサービスケース検討)	神内PT	3
	リハビリ勉強会(肩こり・腰痛予防研修会)	神内PT	13

#### (9)派遣研修

月	研修名	主催者	人数
8月	新型コロナウイルス感染症対策研修会	丹後保健所	2
	介護支援専門員実務経験者更新研修課程Ⅱ	京都府	2
	若年性認知症支援研修会	丹後保健所	1
9月	移乗用リフト視察	虹ヶ丘	4
	介護支援専門員実務経験者更新研修課程Ⅱ	京都府	2
10月	介護支援専門員実務経験者更新研修課程Ⅱ	京都府	2
11月	令和2年度オレンジロードつなげ隊養成研修	京都府	1
	障害者雇用促進セミナー	よさのうみ福祉会	1
12月	地域別看取りサポート研修	京都府看護協会	1
	医療と介護の連携推進研修会	丹後保健所・与謝野町	1
	ユニットリーダー研修オンライン研修	日本ユニットケア推進センター	1
1月	施設看取り介護導入研修	京都地域包括ケア推進機構	2

2月	第4回ノーリフティング基礎研修	全国ノーリフティング推進協議会	2
	ユニットリーダー研修オンライン研修	日本ユニットケア推進センター	1
	施設看取り介護導入研修	京都地域包括ケア推進機構	2
	実務研修受講者対象研修	京都府介護支援専門員会	1
	会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	1
	施設看取り介護導入研修	京都地域包括ケア推進機構	2
	認知症介護実践者等養成研修（計画作成担当者研修）	京都府	1
	小規模多機能型居宅介護ケアマネジメント実務の手続き研修	日本介護支援専門員協会	1
	施設看取り専門研修	京都地域包括ケア推進機構	2
	ケアマネジャーを取り巻くAI、ICTの未来について	日本介護支援専門員協会	1
3月	令和2年度社会福祉法人役員施設長等運営管理職員研修	京都府社会福祉協議会	1
	施設看取り専門研修	京都地域包括ケア推進機構	2

(10) 諸会議参加状況

会議名	主催者	延べ日数
認知症カフェ会議	与謝野町地域包括支援センター	4
認知症コアメンバー会議	与謝野町地域包括支援センター	2
ケアマネ連絡会	与謝野町地域包括支援センター	2
地域ケア個別会議	与謝野町地域包括支援センター	2
与謝野町地域ケア推進会議	与謝野町地域包括支援センター	1
与謝野町短期入所・訪問介護利用者支援事業に係る説明会	与謝野町福祉課	1
介護保険運営協議会	与謝野町福祉課	2
新型コロナウイルス感染症に係る予防接種についての打合せ	与謝野町福祉課	1
ユニットin北京都施設長会	ユニットin北京都	2
ユニットin北京都介護部門会議	ユニットin北京都	2
ユニットin北京都ケアマネ部門会議	ユニットin北京都	3
ユニットin北京都給食部門会議	ユニットin北京都	1
ユニットin北京都デイ部門会議	ユニットin北京都	1
介護職会社説明会	ハローワーク宮津	1
100年クラ委員会	岩屋区	2
高齢者入所施設に従事する職員を対象とした検査説明会	京都府	4
法人感染症会議	与謝郡福祉会	1
技能実習受入準備委員会	技能実習受入準備委員会	3
京都府介護支援専門員会研修	京都府介護支援専門員会	1

(11) 高齢者介護者教室

月日	内容	参加者数	会場
12月8日	橋立中学校認知症サポーター養成講座	72	橋立中学校
12月9日	石川小学校認知症サポーター養成講座	17	石川小学校

## (12) 事故状況

令和元年度の総件数618件より微増となっているが、受診に至った件数については13件から11件へと減少した。受診に至る事故としては、2件の誤嚥による窒息(その後回復)を除き、9件が転倒や転落による骨折、打撲となっている。事故の内訳としても転倒・転落事故については、158件から176件に微増となっており、その反面、介助中の事故が60件から34件へと半減しているため、直接介助を要する利用者が減少傾向にあり、その分自力で歩ける方、立ち上がりのできる方の利用が増えてきているものと推測される。

薬関係については86件から98件へと増加しており、内容としては服用忘れや飲みこぼしといった事故が殆どであるものの、ユニット全体で夕食後薬と朝食後薬の服用を間違える重大な事故も発生しており、改めて服用間違いのないよう事故防止に努めたい。

その他の事故については件数が多いが、利用者が建物外に出られた事故、利用者の持ち物関係、訪問・送迎忘れなどが大半を占めており、食べられない物を口に入れる異食、食事等の提供間違い、介護機器の電源の入れ忘れなども複数報告されていた。

総件数	転倒・転落	介助中事故	外傷	薬関係	誤嚥・誤飲	その他	内受診件数
629	176	34	158	98	7	156	11

## (13) 満足度アンケート

回収率については、送迎時、施設面会時に回答の協力を呼びかけたが、前年度と比較して約0.3%増とほぼ横ばいで全体で45.1%にとどまったが、法人の他の施設に比べても決して多い数字ではないため、次年度以降もできる限り多くの方から回答をいただけるための工夫を検討していきたい。

満足度は「満足」と「やや満足」を足して95.8%と昨年度の88.5%から大きく増加した。無回答が前回の11名から2名に減少したことによると思われるが、アンケート自体を提出されていない方が相当数おられることも真摯に受け止めなければならないと感じている。

回答の中身については、新型コロナによる面会制限中のアンケートであったため「また顔を見たい」という声を多くいただいた。その他には、コロナ禍でのレクリエーションの工夫を望むご意見、食事の献立や調理方法に関すること、入浴時の介助方法についての疑問や居住環境の美化についてのご指摘をいただいた。

一方では感謝や労いの言葉もたくさん頂戴し、人員体制が十分に整わないなかで、多様化するニーズに対応できるスタッフの資質向上が継続した課題となっている。

### ① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	49	30	61.2%
ケアハウス	28	9	32.1%
在宅サービス	122	54	44.3%
神宮寺	16	4	25.0%
合計	215	97	45.1%

### ② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	25	3	0	0	2	30
ケアハウス	6	3	0	0	0	9
在宅サービス	35	17	2	0	0	54
神宮寺	3	1	0	0	0	4
合計	69	24	2	0	2	97
回答構成率	71.1%	24.7%	2.1%	0.0%	2.1%	

# 令和2年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

## 1. 総括

今年度はコロナ禍において最大限の感染症対策を行いながら入居者の支援に努めた。面会制限や行事等の中止が長期化したことで入居者の心身への影響が生じたことは否めず、活動量が減って身体機能の低下や不穏行動が出現した入居者もあった。

今年度は過去最多の15名の方が退居され、そのうち13名の方を施設で看取らせていただいた(うち11名が看取りケア対象)。家族への状態報告を密に行い、早い段階で主治医から状態を説明していただくなど家族の気持ちに寄り添いながら現状の理解を促し、入居者と家族が安心して最期を迎えていただけるように支援した。

個別ケアをこれまで以上に進めるため、24時間シートを活用した支援に切り替えられるように主任会議が中心となり準備を進めてきた。年度末に24時間シートプロジェクトチームを発足し、令和3年4月からプロジェクト委員会を取り組むこととしている。

職員の働き方改革のため夜勤体制の見直しを行った。11時間勤務間インターバルや暦日公休の確保と必要な時間に必要な職員配置ができる体制作りを進めるため、1.5労働夜勤を4ヶ月の試行期間を経て導入した。また、入居者も職員も負担なく安全に移乗介助ができるよう移乗用リフトを導入した。二人介助が必要な方を一人介助で対応することで業務の効率化を図ることができる。

看護体制においては、遅出勤務を導入したことで、夕食時に看護職員が居る安心感、夕食後の急変への対応が迅速にできるようになった。

## 2 入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	2	2	2	2	1	1	1	1	0	2	1	2	17
退所者数	1	3	1	1	2	0	2	0	2	1	0	2	15
月末在籍者数	49	48	49	49	49	50	49	50	48	50	50	50	

## 3 入所者状況

昨年度末は2床の空きがあったが、今年度早々2名の入居があり満床となったのもつかの間で1名が退居された。その後も毎月入退居が続き、満床期間が短い状況だった。高齢で入居され入居期間が1年未満の方が3名おられた。平均介護度は3.92と昨年の4.06から下がっている。体調面では、今年度は誤嚥性肺炎や転倒による骨折が続き、入院されるケースもあった。高齢者にとって誤嚥性肺炎や骨折は生命への危険にもつながることなので、わずかな状態の変化や、また転倒などの危険を回避でき、入居者が穏やかに生活を継続できるように、看護職間や他職種との連携強化に努めたい。

### (1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	1	1	2.0%
要介護3	4	13	17	34.0%
要介護4	4	13	17	34.0%
要介護5	1	14	15	30.0%
合計	9	41	50	100.0%
平均要介護度	3.7	4.0	3.9	

### (2) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
—64	0	0	0
65—69	1	0	1
70—79	2	5	7
80—89	2	12	14
90—99	4	21	25
100—	0	3	3
合計	9	41	50
平均年齢	84.5	86.2	85.9
最高年齢	97	101	
最低年齢	69	72	

### (3) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	7	34	41
伊根町	0	2	2
宮津市	1	1	2
その他	1	4	5
合計	9	41	50

### (4) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	3	6.0%
5年以上～10年未満	12	24.0%
3年以上～5年未満	5	10.0%
1年以上～3年未満	16	32.0%
1年未満	14	28.0%
合計	50	100.0%

#### 4 入所者の健康状況

##### (1) 利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	8	147	12	耳鼻科系疾患	1	6	10
外科系疾患	0	0	3	皮膚科系疾患	0	0	133
精神科系疾患	0	0	35	泌尿器科系疾患	1	6	0
婦人科系疾患	0	0	0	整形外科系疾患	2	38	0
眼科系疾患	0	0	4	歯科系疾患	0	0	329
合 計					12	197	526

##### (2) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	26	2.16
宮津市由良診療所	26	2.16

#### 5 サービス状況

コロナ禍において施設全体及び虹の会行事や外出、面会制限もあり、お楽しみ行事や外部との交流の機会は少なかった。入居者の身体機能低下の防止や気分転換の機会、ユニット間の交流の場となっていた体操も年度後半より中止し、ユニット単位で取り組みを行った。特に面会制限のため、家族とのふれあいが少なくなったので、Web面会をご案内したり、手紙やフェイスブックにユニットの様子をアップしたり、電話やメールでご様子を伝えるよう努めた。

##### (1) 部署・ユニット行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/6	東2番組花見	5	11/2	チューリップ球根植え	20
/7	東2番組花見	4	/4	喫茶	45
/15	喫茶	45	/18	喫茶	45
/28	東2番組食事レク(たこ焼きパーティー)	16	12/2	喫茶	45
5/24	Bグループドライブ	5	/20	西3番組Xmas会	12
6/15	西2番組食事レク(手打ち蕎麦)	16	/21	東2番組Xmas会	16
	喫茶	45		西2番組Xmas会	16
7/8	虹の会&喫茶(たなばた喫茶)	45	/23	東1番組Xmas会	10
/22	西3番組食事レク(カレー作り)	12	2/2	節分(各ユニットで)	50
	喫茶	45	3/19	西2番組食事レク(ケーキバイキング)	16
8/5	喫茶	45	/20	喫茶	45
/13	盆供養	30		西番組3ドライブ	2
/19	喫茶	45			
	東2番組食事レク(かき氷)	16			
/20	西2番組食事レク(素麺)	16			
9/16	喫茶	45			
9/27	敬老祝賀式	40			



# 令和2年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

## 1 総括

令和2年度の入居者は5名、退居者は6名だった。入居に至った理由として、一人暮らしが負担になったり家族の心配が増えて希望された方、またそうした状況に加えて町営住宅が老朽化したことで入居を決断された方、病状から食事面や服薬面における見守りと声かけ等の支援を期待して入居を希望された方などがおられた。退去された方の理由としては、遠方の息子が度々帰省をしながら長年みておられたが息子の居所近くの施設に転所された方、日常生活能力の低下から相当の介護サービスが必要になってきたため老健に入所された方、体調の変化を遠方の娘が心配し引き取る形で退去された方、自宅での一人暮らしを心配した家族の勧めによりケアハウスに入居されたが、本人が受け入れられず自宅との二重生活が経済的にも負担がのしかかり退居することになった方などがおられた。

平均介護度は1.3だが13名の中に90歳以上が6名おられ、体調が崩れ始めると生活が一変してしまい、介護サービスを利用してもケアハウスでの生活の継続が厳しくなると予想される。現状の生活を継続していくためには体調の維持管理が欠かせないため、主治医、訪問看護、介護サービス事業者等、関係機関との連携の重要性を感じている。ケアハウスとしては定期的な体調観察や毎日の体操、食事時の様子など意識して異常を早期に発見し迅速な対応ができるようにしている。コロナ禍ではレクリエーションなどの機会をもつことが難しいが、毎日の体操は意欲的に参加される方が多く、コミュニケーション活用の場になっている。また、感染予防策として面会の制限を行う場合が多いが、ご家族とのコミュニケーションの場は極力保てるよう配慮しながら心身ともに健康に過ごしていただけるよう対応していきたいと考えている。

## 2 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	5
退居者数	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	6
月末在籍者数	14	14	13	13	14	14	12	14	14	13	12	13	

## 3 入居者状況

### (1) 年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－69	0	0	0
70－79	1	1	2
80－89	2	3	5
90－99	0	6	6
100－	0	0	0
合計	3	10	13
平均年齢	84.0	91.1	89.6
最高年齢	88	99	
最低年齢	79	78	

### (2) 出身地別状況

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	1	10	11
伊根町	1	0	1
宮津市	1	0	1
その他	0	0	0
合計	3	10	13

#### 4 身体状況

(1) 要介護度別 平均 1.3

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定無	0	1	1	8%
要支援1	1	0	1	8%
要支援2	1	2	3	23%
要介護1	1	3	4	31%
要介護2	0	3	3	23%
要介護3	0	0	0	0%
要介護4	0	1	1	8%
要介護5	0	0	0	0%
合計	3	10	13	100%

(2) 在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	8	53.3%	
訪問看護	6	40.0%	
短期入所	1	6.7%	
通所介護	4	26.7%	
通所リハ	0	0.0%	
小規模多機能	1	6.7%	

#### 5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	買物サービス(毎週)
5月	買物サービス(毎週)
6月	買物サービス(毎週)
7月	買物サービス(毎週)
8月	買物サービス(毎週)
9月	買物サービス(毎週)
10月	買物サービス(毎週)
11月	買物サービス(毎週)
12月	買物サービス(毎週)
1月	買物サービス(毎週)
2月	買物サービス(毎週)
3月	買物サービス(毎週)

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)	(クラブ名)
4月	ズンドコ体操	
5月	ズンドコ体操	
6月	ズンドコ体操	
7月	ズンドコ体操	
8月	ズンドコ体操	
9月	ズンドコ体操	
10月	ズンドコ体操	
11月	ズンドコ体操	
12月	ズンドコ体操	
1月	ズンドコ体操	
2月	ズンドコ体操	
3月	ズンドコ体操	

# 令和2年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

## 1 総括

今年度上半期は、定期利用されていた方が亡くなられたり老人保健施設に入所されたり、新型コロナウイルス感染症の流行時には利用自粛をされる方等が重なり、新規の受け入れを積極的に行ったものの定期利用につながる方は例年より少なく、稼働は低調に推移した。しかし、下半期は利用希望者も増え、昨年よりも平均にして0.4人多い17.7人と、88.5%の稼働率を維持することができた。また、月に65名～75名(平均69.1名)の利用者に対し、できるだけ希望に沿った形でのスケジュール調整に努めたが、その中でも虐待の疑いがあるとされた相談事例は2件あり、与謝野町や関係機関との連携のもとで迅速かつ柔軟に受け入れを行った。

コロナ禍での受け入れに関しては、送迎時の検温、消毒、換気に始まり、利用中の体調観察は元より、特養側にあるショートステイ利用は複数事業所を利用している方を避けるように調整するなど、今までにない調整をしなければならなかった。近隣施設でクラスターが発生した時には、緊張の連続であったが、現在まで陽性者を出さずことなく稼働できている。引き続き感染予防の意識を緩めることなく事業を継続していきたい。

受診に至った事故は2件あった。1件は夜間部屋から屋外へ出てしまわれた後に痛みが出現し、後日受診すると肋骨骨折されていた。もう1件はベッドから転落され恥骨と仙骨の脆弱骨折が判明した事故があった。後者については職員の確認不足、認識不足が原因で起きたともいえる事故だったため、今後はこのような事故を起こさないように情報の把握と共有を徹底していきたい。また、転倒リスクのある利用者には適宜センサーマットの設置などの対応策を講じることで、事故件数の減少や事故後の早期発見はできていると感じている。薬関係の事故も数件あり、施設全体の看護体制の変更により看護職員が掛け持ちになっていることの影響も考えられるが、業務上の引継ぎや確認が的確に行えるように他職種によるフォローも含めて誤薬が0件になるように防止策を徹底していきたい。

最近の傾向として、認知症がある利用者の方が多くなってきている。同じ日に複数人利用されていることもあり、不隠時などマンツーマンでの見守り等の対応に追われることも多かった。一人一人の職員が認知症利用者への対応を学び、穏やかに過ごしていただけるような人材教育と環境作りに力を入れていきたい。また、各職員がショートステイの役割をしっかりと理解し、利用者や家族と共に安心して住み慣れた地域で生活できるようなサービス提供に努めていきたい。来年度も引き続き感染症対策に力を入れながら、ニーズに合ったサービスが提供できるように努めていきたい。

## 2 利用状況

### (1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	502	0	0	0	502	16.7
5月	512	0	2	0	514	16.6
6月	526	0	0	0	526	17.5
7月	531	0	0	0	531	17.1
8月	560	0	0	0	560	18.1
9月	556	0	0	0	556	18.5
10月	564	0	0	0	564	18.2
11月	567	0	0	0	567	18.9
12月	572	0	0	0	572	18.5
1月	541	0	0	0	541	17.5
2月	466	0	0	0	466	16.6
3月	579	0	0	0	579	18.7
合計	6,476	0	2	0	6,478	17.7

## (2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り平均利用日数
4月	67	65	1	1	7.5
5月	71	68	1	2	7.2
6月	66	64	1	1	7.9
7月	65	63	1	1	8.2
8月	75	71	3	1	7.5
9月	72	69	1	2	7.7
10月	71	69	1	1	7.9
11月	71	67	3	1	8.0
12月	71	67	3	1	8.0
1月	67	61	4	2	8.0
2月	62	59	2	1	7.5
3月	71	66	3	2	8.3
平均	69.1	65.8	2.0	1.3	7.8

## (3)年齢別状況

3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	3	2	5
65-69	0	2	2
70-79	0	4	4
80-89	4	21	25
90-99	5	27	32
100-	1	2	3
合計	13	58	71
平均年齢	84.5	87.6	87.0
最高年齢	100	101	
最低年齢	61	50	

## (4)要介護度別状況(3月度)

介護度別

平均 2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	1	0	1	1.4%
要支援2	0	2	2	2.9%
要介護1	0	10	10	14.5%
要介護2	1	14	15	21.8%
要介護3	6	17	23	33.3%
要介護4	3	7	10	14.5%
要介護5	2	6	8	11.6%
合計	13	56	69	100.0%

障がい区分別

平均 6.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	2	2	100.0%
合計	0	2	2	100.0%

# 令和2年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

## 1 総括

今年度は、4月より新規利用者の相談も増え稼働も安定するかに思えたが、利用回数が多い方の特養や老健への入所などが重なり、稼働率は低下傾向となった。他の居宅介護支援事業所にも積極的に新規の呼びかけや受け入れを行ったが、急な体調の変化や精神的不安定な方もおられ定期利用に繋がることは多くなかった。そのため、目標としていた平均利用者数を達成できず19.4人にとどまった。

認知症がある利用者のうち個別対応の必要な方が増えているが、安心して過ごしていただけるような関わりや見守りの強化を行いサービスの提供に努めた。緊急時対応の取り組みについてはまだまだ十分とはいえないため、事故に至るまでの背景要因やリスクマネジメントにも力を入れ、安心、安全に利用できる環境作りを一層強化していきたい。コロナ禍で年間計画通りにレクリエーションが行えず、さまざまな制限がある中で活動だったが、利用者の意欲や気力を減退させないように体操や脳トレーニングの工夫を行ってきた。また、文化祭も開催できずデイサービスでの活動を目にすることのない利用者家族に向けては、デイサービス新聞の発行を行い、利用者の作品を知っていただく機会をもつことができた。地域活動においては、思うような取り組みはできなかったが、複数の小学校への雑巾の寄付を行うことで、利用者の意欲的な活動につなげることができた。新年度に向けてはスタッフの育成を大きく進める予定としていたが、コロナ禍で感染防止対応に追われ、結果を残すまでには至らなかった。

来年度もコロナ禍は続くと思われるので、感染防止対策をしっかりと行いつつ、利用者が安心、安全な環境で満足できるような活動への工夫に努めていきたい。

## 2 サービス実績の状況

	開所日数	実人数	介護	総合事業・予防	障害	延利用人数	介護	総合事業・予防	障害	1日平均	介護	総合事業・予防	障害
4月	26	71	66	5	0	531	487	44	0	20.4	18.7	1.7	0.0
5月	26	71	65	6	0	521	471	50	0	20.0	18.1	1.9	0.0
6月	26	69	63	6	0	533	480	53	0	20.5	18.5	2.0	0.0
7月	27	67	61	6	0	527	478	49	0	19.5	17.7	1.8	0.0
8月	26	69	63	6	0	499	453	46	0	19.2	17.4	1.8	0.0
9月	26	70	61	9	0	526	467	59	0	20.2	18.0	2.3	0.0
10月	27	72	62	10	0	540	479	61	0	20.0	17.7	2.3	0.0
11月	25	71	61	10	0	496	439	57	0	19.8	17.6	2.3	0.0
12月	27	70	60	10	0	517	460	57	0	19.1	17.0	2.1	0.0
1月	26	65	56	9	0	465	412	53	0	17.9	15.8	2.0	0.0
2月	24	67	58	9	0	436	389	47	0	18.2	16.2	2.0	0.0
3月	27	67	60	7	0	487	443	44	0	18.0	16.4	1.6	0.0
合計	313	829	736	93	0	6,078	5,458	620	0	19.4	17.4	2.0	0.0

## 3 介護度別利用状況

### (1) 介護度別

平均 2.0

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	1	6	7	10.4%
要介護1	2	17	19	28.4%
要介護2	4	19	23	34.3%
要介護3	5	9	14	20.9%
要介護4	0	2	2	3.0%
要介護5	0	2	2	3.0%
合計	12	55	67	100.0%

### (2) 障がい区分別

平均 —

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	—
区分2	0	0	0	—
区分3	0	0	0	—
区分4	0	0	0	—
区分5	0	0	0	—
区分6	0	0	0	—
合計	0	0	0	—

#### 4 年齢構成別登録状況

##### (1) 介護サービス

	男 性	女 性	合 計
－64	1	1	2
65－69	0	2	2
70－79	2	6	8
80－89	6	18	24
90－99	1	20	21
100－	1	2	3
合 計	11	49	60
平均年齢	83.8	87.9	87.2
最高年齢	100	101	
最低年齢	62	50	

##### (2) 予防・総合事業サービス

	男 性	女 性	合 計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	0	3	3
90－99	1	3	4
100－	0	0	0
合 計	1	6	7
平均年齢	98.0	87.8	89.3
最高年齢	98	96	
最低年齢	98	80	

##### (3) 障がいサービス

	男 性	女 性	合 計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	0	0	0
90－99	0	0	0
100－	0	0	0
合 計	0	0	0
平均年齢	－	－	－
最高年齢	－	－	
最低年齢	－	－	

#### 5 デイサービス行事

月	行 事 名
4月	
5月	
6月	あじさいドライブ
7月	食レク(手打ちそば)
8月	夏祭り(劇:竹取物語)
9月	
10月	
11月	紅葉ドライブ
12月	クリスマス会(歌とダンス)
1月	初詣(後藤神社) 食レク(赤飯)
2月	市場小学校との交流(雑巾寄付)
3月	食レク(バラ寿司・かき揚げ) 花見ドライブ(さくら)

# 令和2年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

## 1 総括

今年度の居宅介護支援件数は1,304件と昨年に比べ92件減少し、月平均は108件となった。また、要支援者は昨年に引き続き地域包括支援センターから実人数3名を今年で受託した。件数の減少は、異動に伴う職員体制の変更を見据えて、110件を上限として徐々に件数を減らすべく新規相談の受け入れを制限したためである。しかし、そのような中でも地域に密着した支援センターとして、地域性や関係性、緊急性などを考慮して一年間で31件の新規のご相談を受け入れた。

コロナ禍でいろいろな面で制限せざるを得なかったこともあり、家族支援や関係機関との連携の部分では家族会も開催できず、研修やケアマネ連絡会などもあまり参加することができなかった。しかし相談業務は利用者や家族に不安を与えないように京都府下や近隣市町村の感染状況に留意して十分な感染対策を行い、安全・安心なケアマネジメント業務の実施に努めた。地域の感染状況によっては訪問やサービス担当者会議の開催を控える時期もあったが、電話やメール、書面での相談・情報提供・情報共有を行い、コロナ禍でも丁寧かつスピーディーに支援できたと思う。

来年度はコロナ感染防止対策を講じた上での相談業務を進めるとともに、新人ケアマネの育成をチームとして行う中で、基本に振り返り事業所内のケアマネジメントスキルや業務管理を更に向上できるように努め、今後も地域や関係機関から必要とされる事業所としての機能や役割を維持していきたい。

## 2 事業実施状況

### (1) 受入実績

	居宅介護支援									介護予防支援		
	件数	初回加算	特定事業所加算(Ⅱ)	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	小規模多機能型連携加算	緊急時カールンファレンス加算	ターミナルケアマネジメント加算	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	117	2	117	3	0	4	0	0	0	2	0	0
5月	117	5	117	5	0	1	0	0	0	3	1	0
6月	114	3	114	4	0	0	0	0	0	3	0	0
7月	110	2	110	7	0	1	0	0	0	3	0	0
8月	109	0	109	6	1	3	0	0	0	3	0	0
9月	110	2	110	4	0	5	0	0	0	3	0	0
10月	111	8	111	4	0	2	0	0	0	3	0	0
11月	108	3	108	1	0	1	0	0	2	3	0	0
12月	107	5	107	4	0	3	1	0	0	3	0	0
1月	100	3	100	7	0	2	0	0	0	3	0	0
2月	99	1	99	2	0	1	0	0	0	2	0	0
3月	102	2	102	2	1	1	0	0	0	2	0	0
合計	1,304	36	1,304	49	2	24	1	0	2	33	1	0

(2) 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	100	58	他サービス利用	55	11
医療健康相談	2,081	166	介護保険以外のサービス	122	39
デイサービス利用	1,324	121	認知症の介護に関する相談	222	48
ホームヘルプ利用	473	55	介護に係る相談	166	46
訪問入浴利用	25	9	担当者会議	133	86
ショートステイ利用	600	69	モニタリング	1,536	151
訪問看護利用	476	60	虐待に関する相談	0	0
デイケア利用	32	7	権利擁護に係る相談	2	2
施設入所関係	234	64	その他	0	0
住宅改修・福祉用具	775	114	合計	8,356	1,106

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	612	25	1,834	53	15	0	126	2,665
家族	1,016	47	1,473	11	6	6	113	2,672
関係機関	1,104	47	990	139	23	5	275	2,583
相談協力員	1	0	0	1	0	0	2	4
その他	12	0	9	0	0	0	4	25
合計	2,745	119	4,306	204	44	11	520	7,949



# 令和2年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

## 1 総括

昨年度途中からの常勤職員に加え、新たに1名が加わり、常勤3名、非常勤2名でスタートした令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止に終始した1年だった。何が正解か、何が間違っているのか手探りの中、利用者や家庭には絶対に持ち込んではいけないという使命感の下で感染予防情報にアンテナを張り巡らせながら、取り入れられるところは取り入れて感染拡大防止に努めてきた。さまざまな対策を全員で考えたり、感染対策の1つとして初めてユニホームの着用を開始したこと等、チームワークの向上につながったと思われる副産物もあった。

訪問件数については、上半期は新規利用者の依頼も少なく停滞していたが、夏以降は他事業所が受け入れし難い土曜、日曜の訪問や、朝、夕の訪問を受け入れることで、徐々に訪問件数は増えていった。

利用者への関わりでは、今年度から誕生日に何かお祝いでできないかと考え、職員全員で事前に撮影した動画を見ていただく取り組みを始めた。利用者宅にヘルパー全員が集まる機会はないため、短時間の動画だが喜ばれる声も多く今後も継続していきたい。利用者との関わりが深まる一方で、物盗られ妄想のある独居利用者の目が一番身近なヘルパーに向けたケースがあった。利用者の自宅に入って支援するというヘルパーの役割の難しさを改めて感じるケースであった。障がい福祉サービスでは、長年、訪問していた利用者が調子を崩し入院となったり、新規の受け入れ等があった。介護保険利用者とは異なる障がい特性への理解の必要性やコミュニケーションの難しさを感じている。地域に介護保険、障がいともに対応できる事業所は少ないので、今後も相談支援事業所と連携を図りながら訪問していきたい。コロナ禍での研修はインターネット視聴型研修を中心に行った。学びとなる視聴は多かったが、職員間の意見交流の場が少なくなったと感じている。その中で併設の看護師による看取りの研修を行ったが、直接話を聞き、質問にも答えてもらえる対面の研修は得られるものも多く、今後もできる限り行っていきたい。

年々、家族関係が希薄になり介護力が不足する家庭が多い中、最期まで住み慣れた地域で、自宅での暮らしを望む利用者を、ヘルパーとしてどのように支えていくことができるか、常に考えながら一人ひとりの利用者に寄り添っていきたい。

## 2 利用者状況

(1) 要介護度別 3月度 平均 2.3

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	1	3	4	11.1%
要介護1	6	5	11	30.6%
要介護2	3	4	7	19.4%
要介護3	1	5	6	16.7%
要介護4	1	3	4	11.1%
要介護5	2	2	4	11.1%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	14	22	36	100.0%

(2) 障がい区分別 3月度 平均 3.3

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	1	0	1	25.0%
区分3	2	0	2	50.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	1	0	1	25.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	4	0	4	100.0%

(3) 年齢別 3月度

	男性	女性	合計
—59	2	1	3
60—64	3	0	3
65—69	0	0	0
70—79	1	3	4
80—89	10	6	16
90—99	2	12	14
100—	0	0	0
合計	18	22	40
平均年齢	78.0	87.0	83.0
最高年齢	94	99	
最低年齢	58	50	

## (4) サービス実績の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		介護 保険 サ ー ビ ス	身体介護	69	71	84	53	69	85	122	151	182	126	131
身体生活	10		15	11	13	13	9	17	13	22	21	23	32	199
生活援助	98		120	129	122	119	149	145	149	142	139	127	165	1,604
延件数	177		206	224	188	201	243	284	313	346	286	281	326	3,075
初回加算	1		1	3	0	2	4	5	1	1	3	2	4	27
緊急時加算	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用実人数	23		24	27	24	28	29	34	33	32	29	28	31	
総 合 事 業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	34	35	35	35	39	37	36	34	38	45	36	41	445
	初回加算	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3
	利用実人数	3	3	3	3	4	4	3	3	4	4	4	4	
障 が い		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	32	33	39	67	52	57	40	28	31	32	23	28	462
	利用実人数	4	4	4	5	4	6	4	3	4	4	4	4	
合 計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	243	274	298	290	292	337	360	375	415	363	340	395	3,982
	利用実人数	30	31	34	32	36	39	41	39	40	37	36	39	434
	訪問時間	185:55	206:25	219:40	217:35	219:15	259:30	266:25	266:35	294:20	274:30	259:35	316:00	2985:45

# 令和2年度 ふれあいホーム神宮寺 事業報告書

## 1 総括

今年度の登録者数は、年間平均18.0名/月と、前年度を下回っている。要介護4の利用者が3月末の時点で4名、要支援0名、要介護2・3の方も多く、年間平均介護度は2.2と昨年度より上昇している。登録者数減に伴い、通い・泊りの平均数は昨年度より減っているが、訪問件数は昨年度398.2件/月に対し今年度は443.3/月と大幅に増加している。訪問のみ希望の利用者も複数あり、2人での訪問対応が必要な方や訪問時の援助内容が多岐にわたる方が増えているため、登録人数だけでは測れない面もある。一方、在宅での生活が難しくなり老健入所や短期入院をされる方も多く、コロナ禍で離れて暮らす家族が対応しにくいいため数カ月にわたって入所されるケースも複数あり、登録されている方の老健利用は今後もあると予想される中、その期間の利用者実働数の減少にどう対処すればよいかは以前からの課題である。

今年度もただちにサービスを要するケースや、家族の協力が得られず、金銭面・生命に関わる問題など、深く関与しないといけな案件も複数あり、地域包括支援センターと連携し、迅速かつ柔軟なサービス提供を行っているが、サービス内容のあり方や関与の仕方について精査していく必要がある。

年間を通しての活動は、コロナ禍で予定していた外出系の行事はほぼできていない。利用者主体で進めた手作業レクや卓上ゲームが盛んな他、可能な限り体操を行っている。また、境内の散歩を行い、狭い神宮寺の室内にコロナ禍で閉じこもるが故に身体機能が低下しないような過ごし方を意識している。

### 【地域支援事業】

新型コロナウイルス感染予防のために、認知症カフェを中止することが多かった。昼食なしで午後から実施の「ミニいしかわサロン」を年間24回予定が、年間11回の実施に留まった。6つの地区公民館を巡回しているが、年間通して1回しか行けない地区もあった。内容は、地区の参加者が主体となるよう要望を聞き、認知症予防の体操や脳トレゲーム等を実施するようにしている。「あわしまサロン」も月2回ずつ、年間24回計画したが、年間14回に留まった。認知症予防の体操の他、シオルダーバッグや干支の置物等、何回かに分けて大きな作品を制作している。どちらのサロンでもコロナ禍の影響を受け、参加者も足腰が弱くなっていることや人と会わず閉じこもりがちになっている等の話を伺っている。また、毎年実施していた夏休み工作教室やもちつき大会は中止し、地域交流の機会はもつことができなかった。しかし、サロンが中止になる分、自宅で取り組めるように脳トレプリントを回覧板で配布する等の工夫を行っている。

地域への訪問活動も感染の流行状況をうかがいながら194件行った。認知症のある方に個別訪問も延べ44件行い、介護サービスの利用についての電話相談を受けるなどの活動も行っている。例年は民生委員と一緒に実施していた活動だが、コロナ禍では民生委員も思うように活動できないと聞いており、連携、情報共有しながら支援を行っていきたい。

## 2 利用者状況

### (1) 利用状況

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	18	2.1	233	341	20
5月	16	2.1	228	422	21
6月	16	2.1	213	387	8
7月	21	2.1	286	515	19
8月	19	2.2	272	476	23
9月	20	2.1	249	494	28
10月	19	2.3	315	538	27
11月	18	2.3	262	442	23
12月	16	2.3	235	458	9
1月	18	2.3	233	422	1
2月	18	2.3	248	384	4
3月	17	2.3	288	441	4
年間平均	18.0	2.2	255.2	443.3	15.6

## (2) 登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	2	0	1	5	1	2	3	0	0	2	0	0	16
中止者数	3	2	1	0	3	1	4	1	2	0	0	1	18
月末登録者数	18	16	16	21	19	20	19	18	16	18	18	17	

## (3) 年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	3	2	5
80－89	1	5	6
90－99	2	5	7
100－	0	0	0
合計	6	12	18
平均年齢	82.5	86.4	85.1

## (4) 介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	0	0
要介護1	1	5	6
要介護2	2	3	5
要介護3	2	1	3
要介護4	1	3	4
要介護5	0	0	0
合計	6	12	18

## 3 部署行事

月	行事名
4月	壁画作り・送迎時に車内から桜の花を見る
5月	壁画作り・室内でゲーム
6月	近隣ドライブ(岩滝へバラ見学・シーサイドパーク)・梅干し、梅ジュース作り
7月	13日に神宮寺利用者だけでミニあわしま祭(心経あげ・昼食事会)
8月	お地藏さんの前掛け作り(大1・小24)・お盆の心経あげ
9月	敬老週間(3日間実施。昼食事会・プレゼント)・お彼岸(心経あげ・おはぎ作り)
10月	壁画作り・落ち葉アート・室内でゲーム
11月	紅葉ドライブ(一字観公園・須津)・秋の運動会(3日間実施)
12月	クリスマス会・ミニ餅つき会・年越しそば(永濱さん・ユースセンターの手打ちそば)
1月	新年祝賀式(おせち料理でもてなし)・石川小各教室に雛飾りプレゼント
2月	節分(豆まきゲーム・昼食に巻き寿司)・石川小3年生のプレゼント訪問
3月	お彼岸(心経あげ・ぼたもち作り)・境内で日向ぼっこやグランドゴルフ